

報道関係各位

ニュースリリース
2013年7月10日
株式会社インテージ
(東証1部:コード4326)

参議院議員選挙のネット選挙動向調査を実施

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮首 賢治)は、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 曾根泰教教授、Google、株式会社ブレインパッドと協力し、7月21日に実施される参議院議員通常選挙について、ネット選挙動向調査を実施します。

本調査は、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科の曾根泰教教授を委員長とし、インテージが「シングルソースパネル(i-SSP)」によりメディア接触情報と有権者の投票行動を調査・分析します。データ解析はブレインパッドが行い、調査デザインをGoogleのマーケティングリサーチ部門が担当します。

「シングルソースパネル」は、同一の調査対象者(モニター)から、インターネットやテレビなど複数メディアの接触状況や、アンケート調査による意識データを継続的に収集できます。これにより、メディア接触が有権者の政党支持や投票行動に、どのような影響を与えているかを継続的に分析することができます。

当パネルは、当社の主力サービスであるSCI-personal(全国個人消費者パネル調査)のパネルモニターを基盤に構築しています。そのため、このデータではインターネットやテレビの利用傾向、また広告・情報接触状況が購買行動に与える影響や関係性を捉え、広告の効果を明らかにすることが可能であり、企業のマーケティング活動にも活用されております。

当社は、今回の調査を通して、政党本部、広告代理店、テレビ局などを対象とした、インターネットを利用した選挙運動に関するリサーチサービスの実現性を検証します。また、今後も社会の持続可能な発展に貢献できるサービスの提供を目指し、新たな分野にもチャレンジしてまいります。

なお、データ収集においては、調査にご協力いただく方への十分な説明と個人情報保護への配慮を行います。

【この件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当

担当:小関(おぜき) / 佐藤(さとう)

TEL:03-5294-6000 FAX:03-5294-8318

サイト「お問い合わせフォーム」 <http://www.intage.co.jp/contact/>

【調査概要】

調査対象者: 20-59歳の男女、PCインターネット利用者およびテレビ視聴者

対象エリア: 関東1都6県(東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城)

分析対象者数: 約2,400人

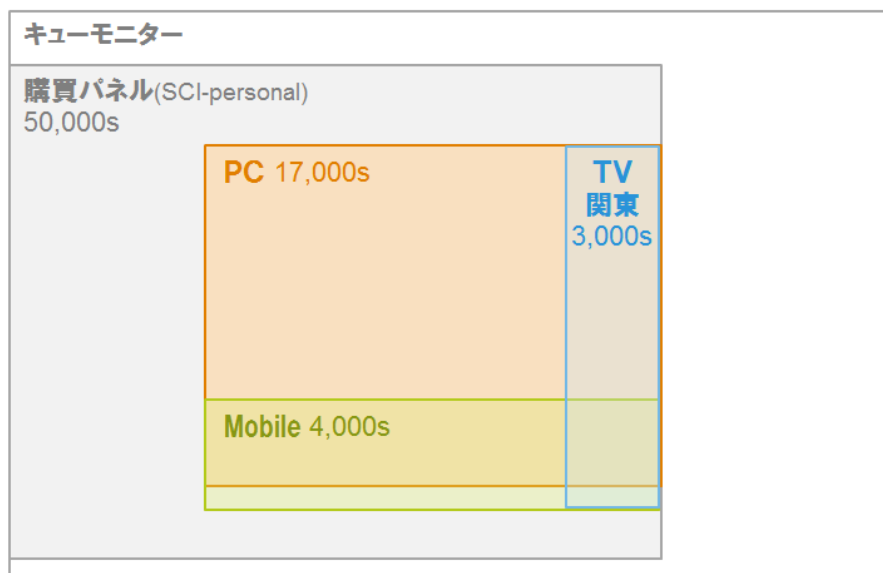
調査期間: 2013年5月1日～7月までの3ヵ月間

分析データ:

- 選挙に関するアンケート(5月・6月・7月選挙前・選挙後の計4回を予定)
- テレビ番組視聴ログ(政治関連番組の視聴、番組内容など)
- インターネット閲覧ログ(政党ホームページや政治記事の閲覧など)

【参考資料】

「シングルソースパネル(i-SSP)」のサンプル数(パネル設計)は次のとおり



【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(市場名: 東証1部・4326、本社: 東京都千代田区、設立年月日: 1960年3月2日、代表取締役社長: 宮首 賢治)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。国内マーケティングリサーチのパイオニアとして、お客様のビジネスの成功に貢献してまいります。